

<論文>倉庫業の保管料の推計：昭和51暦年分

著者	松本 清
著者別名	Matsumoto Kiyoshi
雑誌名	経営論集
巻	7
ページ	55-75
発行年	1977-09-30
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00005877/

倉庫業の保管料の推計

——昭和51暦年分——

松 本 清

1 推計の理由

日本における倉庫営業は開業許可制の下に在り（倉庫業法第3条），運輸大臣から開業許可を得るのでなければ，倉庫業を営むことができない。この許可を得て現に営業をしている倉庫業者は総数（ただし，本店数）で下記のとおりになっており（各年3月末現在，運輸省港湾局倉庫課調べ），またその庫腹（Space）と貨物の動き方は「倉庫統計月報」（運輸省港湾局倉庫課編，社団法人日本倉庫協会が年極めで市販）で公表されているのであるが，産業としての売上高がどれほどあるものであるかについては，行政庁（運輸省）を首めとして日本倉庫協会（普通倉庫業），日本水面木材倉庫協会，日本冷蔵倉庫協会の3団体のいずれからも未だ集計・公表されることなく今日に及んでいるのは，倉庫業界一般としての大きい盲点とすべきである。

筆者が前掲の「倉庫統計月報」に示されている貨物動向（入庫高・出庫高・月末現在高）に基づき，不十分ながらも売上高の推計を長期に及んで行なっているのは，業界の盲点への突破口を作ろうとするために他ならない。

区 分	昭 和 50 年	昭 和 51 年
普 通 倉 庫 業	2,228社	2,326社
冷 蔵 倉 庫 業	1,226社	1,254社
水 面 木 材 倉 庫 業	26社	25社
合 計	3,480社	3,605社

日本では「倉庫」の文字を商号に示すことに対しては何らの法的規制がなく，強制もないので，倉庫（建屋，地面，タンク，水面）の賃貸業者も「倉庫」の文字をその商号に示すことができるが，倉庫の賃貸業は商法第597条にいう「倉庫営業者」にはならないので，賃貸倉庫業者の賃貸料は保管料には属

さない。また賃貸業は倉庫業の部門には属さない¹⁾。

筆者の推計に依れば、倉庫業界の保管料推定算出高（甲地区料率換算）は、過去において（昭和48年，同49年）下記のとおりであったから，（単位，億円）倉庫業の業況は「普通倉庫業（Public warehousing of general merchandise）」が代表するといえる（拙稿「倉庫業の保管料の推計——昭和49暦年分」，東洋大学経営研究所「経営論集」第3号，p.79）。

部 門 別	昭和48暦年	昭和49暦年	昭和51暦年
普 通 倉 庫 業	2,148	3,196	3,734
冷 蔵 倉 庫 業	606	702	880
水 面 木 材 倉 庫 業	16	16	20
合 計	2,770	3,914	4,634

筆者の推計に依る普通倉庫業保管料推計高は，つぎに示すごとく概ね5年毎に倍増している。

昭和35	314億円	昭和44	1,030億円
36	377	45	1,392
37	426	46	1,706
38	463	47	1,756
39	544	48	2,148
40	609	49	3,196
41	621	50	3,376
42	718	51	3,734
43	888		

筆者が「業界の盲点への突破口を作ろうとする」とするのは，下記を理由とする。

- (1) 倉庫業の産業としての大きさを明らかにすること。
- (2) 物資流動論（Business logistics, Physical distribution, 日本では「物的流通」と誤訳し，Distribution と Circulation との異質性を無視してしまっている。この誤訳の発生は昭和31年に属する）で多く発表されている保管経費率に実証性を与えること。
- (3) 自家倉庫（Private warehouses, テグラ，手蔵）の運営に対して経費的な指針を与えること。
- (4) 普通倉庫業界で行なっている「従価保管料率（Ad valorem rates）と従量保管料率（Specific rates）とによる従価率保管料と従量率保管料との

合算制」を欧米諸国並みに従量率保管料のみの制度に改めるための資料を得ること。

(5) GNP との関連を求めること。

上記の(2)の保管経費率の実証性の付与と、(3)の自家倉庫運営指針の付与との双方に対しては、後述するとおりに具体的に「保管経費率」の項で示しておいた。

上記の(5)の GNP との関連を見てみると、昭和50年では普通倉庫については、

名目 GNP	144,865十億円	(a)
推計保管料	3,376億円	(b)

となっているから、(b/a) は0.22%となる。

- 1) 帆高寿夫「賃貸倉庫の管理と経営」(社団法人、商事法務研究会刊、昭和52年)には、この点につき、つぎのとおりに説かれている。

この「貸倉庫」は裏日本の一部を除いて殆どの府県にあり、多くの倉庫業者、運送業者、メーカー、商業者が利用している。筆者の推定では、全国で合計300万坪以上あり(注、1坪は3.3平方米)、数千億円の投資額と考えられる。隠れた大きな不動産事業であるが、倉庫用建物を賃貸することは何の法的規制もない。従って、全国でどれ位の棟数・面積の倉庫が賃貸されているか、調査・統計がないのである(同書、はしがき)。

2 推計の手法

製造業・販売業での売上高は下記の算式により算出されることは周知のとおりである。

製造業は、単価×生産量＝生産額

販売業は、単価×販売量＝販売額

そうしてみると、倉庫業については同じ要領で生産量なり、販売量に相当する「保管役務の生産量」なるものを計算することにより「保管料」を見出されることがになる。「単価」に該当するのは「1期の保管料」であるからである。

日本の倉庫業界は行政的でも、産業分類上でも前述のとおり、(1)普通倉庫業 (General merchandise warehousing, (2) 冷蔵倉庫業 (Cold storage w.) およ

び(3)水面木材倉庫業 (Lumber floating w.) に3分され、おのこの異なった料金計算法を採用しているので、保管役務の生産量もそれに伴い異なった方法で算出されているが、推計保管料では普通倉庫業界が約80%を占めている点から見て、普通倉庫業での保管役務の生産量の算出方法を、つぎに示すことにする。

普通倉庫業では、1カ月を、月初1日から10日まで、11日から20日まで、21日から月末までをそれぞれ1期として3分する「月3期制」を採用している。しかも従価率 (Ad-valorem rates) による従価保管料と、従量率 (Specific rates) による従量保管料とを合算することになっているから、生産された保管役務量は、従価率を適用するための金額表示のものと、従量率を適用するための数量 (トン量) 表示のものの2方法で示されることになる。

「月3期制」に依るか、「月2期制 (月初1日から15日まで、16日から月末まで)」に依るかによっても保管役務量が数字的に変化するものであるから、倉庫業界での保管役務量なるものは、絶対的数値に固定しない点に一つの特色がある。英国では1週間を1期、米国では月1期制としているし、フランスと西ドイツでは月2期制となっている。ただし、これらの国々では従価率なるものがなく、従量率のみを用いるから、計算の手間の上では日本よりも簡明であることになる。日本では戦前から「月2期制」を用いていたのであったが、昭和45年8月1日から「月3期制」に改正された。

保管役務の生産量は普通倉庫業者は自社の分を有するが公表されないもので、前掲の「倉庫統計月報」に出る全国業者の入庫高と月末残高または月末現在高の二つの数字を基礎にして全国の保管役務の生産費を算出するよりほかはない。本論で示した推計は、つぎに示した算式による保管役務量をベースにするので、若干の誤差の発生が免れないが、現在のところでは最善のものであると信じている。この算式の成立については、拙著「倉庫経営論」(第7次改訂版、学文社、p. 223 ff) で詳述している。

$$T_n = \frac{n}{2}(K_0 + K_e) + \frac{1}{2}(A + B) + E$$

ただし、

T_n ……月間保管役務量	n ……期制数	K_0 ……月初在庫高
K_e ……月末在庫高	A ……月間入庫高	
B ……月間出庫高	E ……誤差	

「倉庫統計月報」では、6月（June）分に限って金額の発表をすることになっているので、従価保管料と従量保管料との合算制となっていることについては保管料の推計の上では非常に不便であるが、6月分のトン当り平均金額をベースにしての「トン当り／1期」の保管料率を試算してみると、つぎのとおりである。料率適用に用いた代表品目の選択には相当に注意はしてみたが、「倉庫統計月報」での品目数は大品目で10項、小品目で40項と決められているので、代表品目の選択は結局は筆者の些意とならざるをえない。保管料率は現行（昭和50年9月1日実施）に依る。

「トン当り／1期」の保管料率試算

（甲地区換算）

品 目 別	価 額	従 価 率		従量率	合算料率	代 表 品 名
	トン当り (千円)	千円当り (円)	トン当り A (円)	トン当り B (円)	(A+B) (円)	
1 米	126	0.50	63.0	146.4	204.9	内国米（袋）
2 麦	29	0.50	14.5	141.9	156.4	輸入麦（袋20：バラ80）
3 雑 穀	69	1.15	79.35	140	219.4	雑穀
4 豆	206	1.75	360.5	190	550.5	その他豆
5 畜 産 品	255	0.80	204.0	300	504.0	毛類
6 水 産 品	286	1.10	314.6	540	850.6	海苔
7 油 脂 用 作 物	104	1.10	114.4	210	324.4	種子
8 葉 た ば こ	253	0.48	121.44	111.5	232.9	米国黄種（樽入）
9 其 他 農 産 品	276	1.10	303.6	205	508.6	農産物
10 鉄 鋼	63	1.10	69.3	98	167.3	鉄材
11 非 鉄 金 属	357	0.70	249.9	183	432.9	地金
12 金 属 製 品	167	0.70	116.9	740	856.9	その他金物製品
13 電 気 機 械	258	1.30	335.4	265	600.4	家電
14 其 他 機 械	346	1.70	588.2	510	1,098.2	その他機械
15 板ガラス・同製品	150	1.10	165.0	345	510.0	板ガラス
16 其 他 窯 業 品	77	2.80	215.6	365	580.6	雑品
17 石 油 製 品	137	1.10	150.7	395	545.7	合成樹脂素材
18 化 学 薬 品	216	1.30	280.8	245	525.8	その他薬品
19 化 学 肥 料	35	1.50	52.5	100	152.5	化学肥料
20 染・顔・塗 料	370	1.30	481.0	424	905.0	その他染塗料
21 合 成 樹 脂	153	1.10	168.3	395	563.3	合成樹脂素材
22 其他化学工業品	188	1.30	244.4	245	489.4	その他薬品
23 紙及びパルプ	121	1.10	133.1	230	263.1	その他紙
24 化 学 繊 維 糸	220	0.80	176.0	275	451.0	糸（包装品）
25 其 他 糸	642	0.80	513.6	275	788.6	"
26 化学繊維織物	362	0.80	299.6	615	904.6	織物（バラ）
27 其 他 織 物	446	0.80	356.8	615	971.8	"
28 缶 詰・瓶 詰	196	1.30	254.8	219	473.8	缶瓶詰

29	砂	糖	210	1.10	231.0	240	471.0	精糖
30	飲	料	128	1.40	179.2	187.5	366.7	ビール5：その他5
31	其他食料工業品		207	1.70	351.9	200	551.9	其他食料品
32	織物製品		420	0.80	336.0	350	686.0	織物製品（包装品）
33	其他日用品		149	2.80	417.2	365	782.2	雑品
34	ゴム製品		194	1.80	349.2	295	644.2	ゴム製品
35	其他製造工業品		154	2.80	431.2	365	796.2	雑品
36	天然ゴム		252	1.10	277.2	383	660.2	生ゴム
37	木材		117	0.70	81.9	205	286.9	木材
38	非金属鉱物		59	1.10	64.9	255	319.9	其他鉱産物
39	動植物性肥飼料		66	1.15	75.9	205	280.9	ミール類
40	雑品		183	2.80	512.4	365	877.4	雑品
平均			150				446.6	

3 諸表の解説

(1) 第1表 普通倉庫月別貨物および庫腹 (Space) の動向

普通倉庫業者の本店数は、つぎのとおりに推移をしている（各年とも3月末現在）。年々増加の一途を辿っている。

昭和42年	1,354社	昭和48年	2,095社
45	1,708	49	2,165
46	1,856	50	2,228
47	1,974	51	2,236

庫腹について「1～3類倉庫」、「危険品建屋・タンク」、「野積倉庫」および「貯蔵槽倉庫 (Silo)」に4区分することは、昭和50年7月末分からのことであるので、それ以前のことは不詳であるが、昭和50年末と昭和51年末とを比較してみると、つぎのとおりになる。危険品タンクと野積倉庫とが著増している。

倉庫別	昭和50年末	昭和51年末	増加率
1～3類倉庫 (千平米)	17,370.5	18,180.0	4.7%
危険品建屋 (千平米)	112.6	120.8	7.2
同タンク (千立米)	323.8	454.6	40.4
野積倉庫 (千平米)	2,530.6	3,812.4	50.6
サイロ (千立米)	3,989.7	4,188.6	5.0

(2) 第2表 普通倉庫地区別貨物動向

本表は、社団法人「日本倉庫協会」調査部が昭和50年分と51年分とについて

て作成した数字を併記して、その増減を比率的に見ようとするものであり、合計において入庫高つまり新規受寄量と、月末現在高の年間平均とを見れば、前者が13%増であったのに対して、後者が2%減となっている。在庫減しを続けたことが判明する。これを広域的に見ると、つぎのとおりになる。

北 海 道 地区	11%減
東 北 地区	4%増
関 東 地区	1%増
中 部 地区	8%減
近 畿 地区	2%減
中 国 地区	2%増
四 国 地区	2%減
九 州 地区	1%減
合 計	2%減

つまり、東北、関東、中国の3地区だけが増加しているに過ぎなかった。

(3) 第3表 普通倉庫品目別貨物動向

普通倉庫品目別は大品目は10項、小品目別は40項に分類することになっている。10大品目別で昭和50暦年分と昭和51暦年分とを対比してみると、下記のとおりである。荷動きの点では「繊維工業品」だけが不振であり、在庫高の点では3大品目だけが前年比を大きくしたに留まる。

大 品 目 別	入 出 庫 高	対50年比%	月末現在高 年間異計	対50年比%
1 農 水 産 物	46,582	107	54,224	116
2 金 属 原 料	37,612	109	29,629	92
3 金属製品機械	31,968	118	28,020	92
4 窯 業 品	3,465	104	3,756	97
5 其他化学工業品	31,371	118	27,147	95
6 紙及びパルプ	16,490	115	16,737	103
7 繊維工業品	12,480	97	15,630	91
8 食料工業品	27,495	110	20,680	92
9 雑 工 業 品	12,175	116	12,966	105
10 雑 品	28,602	118	29,256	86
合 計	248,240	112	238,044	98

(4) 第4表 普通倉庫品目別保管料推計高（甲地区換算）

この第4表は、第1章「推計の理由」に掲げた昭和51年の3,734億円の貨

物別の明細である。普通倉庫業の保管料率と荷役料率とは行政上で全国を甲地区、乙地区および丙地区に3分し、甲地区料率を100として、乙地区は92、丙地区は84.64といった比率であるべきものとしているが、甲地区の占める重要度が非常に高いために、甲地区料率で全体を算出したものの96%を全国の推計高とすることが一応経験的に妥当視されている。本表の推計高は注で示すように甲地区料率で算出したものである。

10大品目でその **weight** を見ると、つぎのとおりである。

1	農 水 産 物	448億円	12.0%
2	金 属 原 料	208	5.6
3	金物製品機械	766	20.5
4	窯 業 品	69	1.8
5	其他化学工業品	458	12.3
6	紙及びパルプ	154	4.1
7	繊維工業品	385	10.3
8	食料工業品	365	9.8
9	雑 工 業 品	327	8.8
10	雑 品	555	14.9
	合 計	3,734	100.0

上記において、「10 雑品」が占めている比率が高いことは、品目分類の上は何らかの欠陥があることを示すように思われる。

(5) 第5表 普通倉庫品目別入出庫料推計高（甲地区換算）

普通倉庫業界では荷役（ニヤク、Cargo-handling）を「普通荷役」と「特殊荷役」とに分け、入庫作業と出庫作業とを「普通荷役」、その他の作業を「特殊荷役」と名付けているが、普通荷役は「倉庫統計月報」に少し手を加えれば数量を品目別にさえも知りえられるのに対し、「特殊荷役」は品目別はもちろんとして、数量的にも全然把握することができない。経験的には、大体においてつぎの関係に在ることが常識視されている（拙著「倉庫経営論」, p. 240）。

$$\text{普通荷役料収入} = (\text{保管料収入}) \times 30 \sim 35\%$$

$$\text{特殊荷役料収入} = (\text{普通荷役料収入}) \times 50\%$$

昭和51年分についての推計普通荷役料算出高（甲地区換算）は、この第5表で示したとおりに1,566億円となっているので、保管料推計高（3,734億円）に対する比率は41.9%となり、（30～35%）という枠を若干ながら超えている

が、推計技術の拙さに因るところがあるものと考えられる。

普通倉庫業界では荷役技術に対しては相当に熱の入った研究が行なわれているが、荷役料の研究となると、殆どが下請業者を使う関係から、熱意は非常に低いのが実情である。

荷役料率の算定を見ても、工場労働に準じた方法を採用しているので、段取替えにおけるムダつまりロスの算定は無視されているとさえいえる有様である。

筆者は、普通荷役は倉庫業者の利益に於て (in the interests of) 行なわれる荷役であり、特殊荷役は寄託者の利益に於て行なわれるものであるが故に、普通荷役費は保管料の原価構成費目として計上すべきであると考えているが、この点は日本に於てのみならず、カナダ国でも業界の理解を得られないうまに今日に及んでいる。

最近5カ年に及ぶ入出庫量は、つぎのとおりである (単位 千トン)。

年 別	入庫量	出庫量	入出庫量
昭和47年	100,899	101,677	202,576
48	121,989	120,473	242,462
49	125,795	121,142	246,937
50	110,331	111,666	221,997
51	124,840	123,400	248,240

(6) 第6・7表 水面木材倉庫関係 第8・9表 冷蔵倉庫関係

水面木材倉庫業関係の2表については、特に説明を要しないと思われる。保管料算出高は約20億円と見ることができよう。

冷蔵倉庫業関係の2表については、保管料率の引上げが行なわれているので、相当の増収となっている。

庫腹区分は、下記のとおりに行なわれているが、F級を以て代表させることができる。

F級 保管温度が、マイナス20度C以下

C1級 保管温度が、マイナス10度C以下、マイナス20度C未満

C2級 保管温度が、マイナス2度C以下、マイナス10度C未満

C3級 保管温度が、プラス10度C以下、マイナス2度C未満

F級室 (マイナス20度C以下) では、保管料が 10kg につき 22.00 円であり (昭和51年5月1日実施)、かつ月2期制を用いているので、保管料推計高は、

つぎのとおりで求めえられる（在庫高単位 千トン）。

前年末在庫高	1,297.3	(1)
当年末在庫高	1,403.1	(2)
当年間在庫高	7,671.9	(3)
当年間出庫高	7,566.1	(4)
当年月末在庫高累計	16,235.9	(5)
年間保管役務生産量	T_2	

上記により、

$$T_2 = [(5) \times 2 - (2) + (1)] + \frac{1}{2} [(3) + (4)] = 39,985.0 \text{ 千トン}$$

推計保管料は、 $2,200 \text{ 円} \times 39,985.0 = 879.7 \text{ 円億円}$ となる。

冷蔵倉庫業界では容積建ての保管室レンタルをも「保管料扱い」をしているから、年間延11,617.8千立方メートルについて「1カ月、1立方メートル、F級室1,000円」の割での貸室料の収入（116億円）があることになるが、保管料は商法第597条の規定より発するのであるから、筆者の推計からは除くものとした。

（注）冷蔵倉庫業界での保管料推計に当っては、日本冷蔵株式会社総合企画室調査役の田口哲也氏と、社団法人日本冷蔵倉庫協会の浦野光人氏との貴重な御助言に負うところが大きく、ここに明記して感謝を申し上げたい。

4 保管経費率

いわゆる「物流論 (Physical distribution)」に多く掲げられている保管経費率は、どの程度の範囲で算出されたものであるのかについて全く説明がない。それで最も種類が多く含まれている普通倉庫業の貨物統計を基として、保管料推定算出高（甲地区換算）を、年間出庫高（金額表示）で除してみると、下記のような結果が得られる。保管料算出高の推計は、貨物の在庫期間という要素が介入しているのであるから、景気変動を考慮に入れたものとなるだけに、それだけ保管経費率は内容が充実していると断言できる。

保 管 経 費 率 表

品	目	経 費 率 %
1	農 水 産 物	2.0
	1 米	2.6
	2 麦	4.3
	3 雑 穀	1.3

4	豆	1.5
5	畜産品	0.8
6	水産品	2.2
7	油脂用作物	1.4
8	葉たばこ	4.0
9	其他農産品	1.6
2	金属原料	1.3
10	鉄鋼	1.5
11	非鉄金属	0.9
3	金属製品機械	1.8
12	金属製品	3.5
13	電気機械	1.5
14	其他機械	1.8
4	窯業品	3.4
15	板ガラス・同製品	3.0
16	其他窯業品	4.4
5	其他化学工業品	1.8
17	石油製品	1.4
18	化学薬品	1.3
19	化学肥料	4.1
20	染・顔・塗料	1.5
21	合成樹脂	2.7
22	其他化学工業品	1.5
6	紙及びパルプ	1.5
23	紙及びパルプ	1.5
7	繊維工業品	1.8
24	化学繊維糸	1.5
25	其他糸	1.1
26	化学繊維織物	2.3
27	其他織物	2.1
8	食料工業品	1.4
28	缶詰・瓶詰	1.6
29	砂糖	1.2
30	飲料	1.5
31	其他食料工業品	1.4
9	雑工業品	2.5
32	織物製品	1.6
33	其他日用品	3.8
34	ゴム製品	2.0
35	其他製造工業品	3.8
10	雑品	2.9
36	天然ゴム	2.8
37	木材	1.9
38	非金属鉱物	5.3

39 動植物性肥飼料	2.6
40 雑 品	3.2
平 均	1.89

5 Physical distribution に対する誤訳

Physical distribution を「物的流通」と訳したことは、物流論を甚だしく曲げた内容のものにしたと言える。この点でドラッカー教授の発言“Physical distribution is the economy's dark continent” (“FORTUNE”, No. 72, 1962-April) の中の Physical distribution の語を見直す必要がある。

「流通」の語には分散または散布の意義は全く含まれないのみならず、語そのものも決して新しいものではない。流通の語は貨幣なり、有価証券なりの Circulation または Umlauf に相応する訳語として用いられたことは、既に明治30年代にこれを見ることができる。「流通転輾」の文字がそれである。日本で新商法が採択した倉庫証券についての複券制が多くの欠陥のあることを見て、日本弁護士会が単券制を採用すべきであるとの見解を明らかにした意見書の中にそれがつぎのとおりに現われている。「蓋シ二枚証券制度が発生シタル仏国ニ於テハ、特ニ質入証券ノ流通転輾ヲ計リ特別ノ規定ヲ以テ……」(拙著「日本倉庫史」, p. 195, 昭和12年, 大日本出版社峰文荘)。この意見書中の「流通」の文字は Umlauf ないし Circulation を意味するものであって、Verteilung または Distribution とは関係がない。

Physical distribution とは物理的に分散させることであるから、物理的を物的と見ることには大した誤りはないにしても、流通と分散とを同一視することは重大な誤解である。「貨物に流通なる現象は生じえない」と筆者は確信するが故に、あえて「重大な誤解」というのである。

米国に“Distribution Worldwide”と題する月刊誌がある。古い歴史を有する雑誌であるが、本誌には日本でいう「商流」についての記事は全く見当たらない。Distribution と Circulation とは異なる現象であるために当然のことに属している。日本においての「流通論」は、この意味において Physical distribution を「物的流通」、「物流」と誤訳したことへの源流へ立ち戻り(昭和31年)、流通は Circulation または Umlauf の訳語であることを再認識し、Distribution または Verteilung には「流動」の新訳を与

えない限り、「流通論は机上の空論」として、実りのないままに経過することになる (770728)。

第1表 普通倉庫月別貨物および庫腹 (Space) 動向

月別	貨物			所管倉庫				
	入庫高 (千トン)	出庫高 (千トン)	月末現在高 (千トン)	1—3級建屋	危険品		野積場 (千平方メートル)	貯蔵槽倉庫 (千立方メートル)
				(千平方メートル)	建屋 (千平方メートル)	タンク (千立方メートル)		
前年末	10,482.9	10,791.7	19,596.4	17,370.5	112.6	323.8	3,530.6	3,989.7
1	8,616.8	8,626.6	19,586.6	17,414.1	113.3	323.8	3,518.5	3,994.0
2	9,367.3	9,152.0	19,801.9	17,441.3	116.0	429.5	3,514.4	4,003.4
3	10,293.5	10,413.5	19,681.9	17,504.0	116.1	430.4	3,540.3	4,011.4
小計	28,277.6	28,192.1	(19,690.1)	(17,453.1)	(115.1)	(394.6)	(3,524.4)	(4,002.9)
4	9,746.8	10,187.5	19,241.2	17,538.3	117.6	438.2	3,647.1	4,022.2
5	9,975.7	10,072.5	19,144.4	17,595.2	117.0	438.2	3,649.6	4,022.0
6	10,917.0	10,599.1	19,462.3	17,638.9	117.1	438.2	3,729.0	4,023.0
小計	30,639.5	30,859.1	(19,282.6)	(17,590.8)	(117.2)	(438.2)	(3,675.2)	4,022.4
7	10,846.4	11,005.4	19,303.3	17,679.1	117.6	438.8	3,777.9	4,033.1
8	10,518.5	10,078.6	19,743.2	17,727.6	117.8	438.8	3,777.5	4,036.3
9	10,719.8	10,347.3	20,115.7	17,774.5	118.8	454.6	3,784.3	4,065.3
小計	32,084.7	31,431.3	(19,720.7)	(17,727.1)	(118.1)	(444.1)	(3,779.9)	(4,044.9)
10	11,107.4	10,893.5	20,329.6	17,847.7	119.0	454.6	3,781.8	4,130.9
11	11,107.2	10,839.8	20,597.0	17,972.5	119.5	454.6	3,813.0	4,179.9
12	11,623.8	11,184.3	21,036.5	18,180.0	120.8	454.6	3,812.4	4,188.6
小計	33,838.4	32,917.6	(20,654.4)	(18,000.1)	(119.8)	(454.6)	(3,802.4)	(4,166.5)
年計	124,840.2	123,400.1	(19,837.0)	(17,692.8)	(117.6)	(432.9)	(3,695.5)	4,059.2
前年	110,330.9	111,666.5	(20,334.1)	—	—	—	—	—

第2表 普通倉庫地区別貨物動向

(単位 千トン) 日本倉庫協会調査部調べ

地区別	昭和51年(A)		昭和51年(B)		A/B (%)	
	入庫高(1)	(2)月平均残高	入庫高(1)	(2)月平均残高	(1)	(2)
1 北海道	4,475.8	799.1	4,345	897	103	89
2 東北	4,284.6	493.0	3,478	473	123	104
青森	247.1	52.5	214	50	115	106
岩手	106.1	27.9	92	27	115	104
宮城	2,403.9	280.0	1,775	273	135	103

3	秋山福関	田形島東城木馬玉葉京	113.8	21.6	103	22	111	98
			113.2	29.1	98	28	115	104
			1,300.5	81.9	1,196	73	109	112
4	茨栃群埼千東神中	奈川部	41,367.2	6,352.9	34,821	6,262	119	101
			1,159.4	175.2	1,118	187	104	94
			213.5	40.8	181	41	118	100
5	新富石福山長岐静愛三近滋京大兵奈和中	歌山	1,045.5	249.5	837	230	125	109
			3,510.0	561.7	2,833	540	124	104
			5,494.7	763.2	4,797	787	115	97
6	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	13,166.0	1,973.9	11,047	1,888	119	105
			16,778.1	2,588.6	14,008	2,589	120	100
			24,524.1	4,193.1	21,996	4,576	111	92
7	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	1,404.4	307.9	1,562	449	90	69
			412.0	90.4	423	94	97	96
			572.5	90.1	520	101	110	89
8	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	611.8	119.3	573	121	107	99
			129.8	28.5	113	27	115	106
			503.3	133.3	433	128	116	104
9	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	480.5	107.4	401	99	120	108
			4,390.1	775.8	3,977	798	110	97
			13,983.5	2,200.4	12,216	2,406	114	91
10	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	2,036.2	340.0	1,778	353	115	97
			30,880.4	5,081.1	28,123	5,194	110	98
			629.6	140.3	527	150	119	94
11	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	1,783.8	371.3	1,642	375	109	99
			18,572.0	3,090.4	16,825	3,207	110	96
			9,063.8	1,325.0	8,306	1,298	109	102
12	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	366.8	56.9	352	64	104	89
			464.4	97.2	471	100	99	97
			6,555.2	907.9	5,939	890	111	102
13	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	49.6	7.5	44	8	113	94
			26.2	6.1	32	6	82	102
			1,655.5	279.2	1,659	302	100	92
14	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	4,063.1	457.5	3,587	432	113	106
			760.8	157.6	617	142	123	111
			2,584.0	464.6	2,414	474	107	98
15	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	776.9	85.7	591	66	131	130
			1,054.0	239.9	1,104	275	95	87
			651.0	113.3	620	111	105	102
16	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	102.1	25.7	99	22	103	117
			10,168.9	1,545.3	9,215	1,568	110	99
			6,663.9	985.4	6,095	1,048	109	94
17	鳥岡広山四德香愛高九福佐長	国島川媛知州岡賀崎	475.2	80.9	375	72	127	112
			769.2	114.4	778	115	99	99

熊 本	217.0	54.5	174	52	125	105
大 分	265.3	70.2	258	62	103	113
宮 崎	303.6	60.5	194	43	156	141
鹿 児 島	1,204.6	139.4	992	133	121	105
沖 縄	270.1	40.0	349	43	77	93
合 計	124,840.2	19,837.0	110,331	20,334	113	98

第3表 普通倉庫品目別貨物動向

(単位 千トン)

品 目 別	入 庫 高	出 庫 高	年末現在高	月末現在高年間累計	
				昭和51年分	昭和50年分
1 農 水 産 物	23,697.7	22,884.4	4,974.3	54,223.9	46,713.0
(1) 米	3,140.7	2,703.8	1,273.5	13,425.1	8,361.5
(2) 麦	7,785.1	7,372.9	1,639.8	17,184.6	14,092.9
(3) 雑 穀	7,815.6	8,001.0	706.4	8,256.4	10,965.2
(4) 豆	1,649.0	1,678.3	218.6	2,522.1	2,823.3
(5) 畜 産 品	981.8	950.0	88.1	930.1	773.7
(6) 水 産 品	210.6	208.5	31.8	455.9	446.1
(7) 油脂用作物	279.9	281.4	20.6	339.2	294.0
(8) 葉 た ば こ	732.9	572.0	776.6	8,250.2	6,497.6
(9) その他の農産品	1,102.1	1,116.5	218.9	2,860.3	2,458.7
2 金 属 原 料	18,735.6	18,875.9	2,711.2	29,628.8	32,184.4
(1) 鉄 鋼	17,210.8	17,398.9	2,431.9	26,538.3	29,209.1
(2) 非 鉄 金 属	1,524.8	1,477.0	279.3	3,090.0	2,975.3
3 金属製品機械	16,119.9	15,847.6	2,454.2	28,019.5	30,474.7
(1) 金 属 製 品	2,305.5	2,276.8	404.1	4,498.6	5,041.7
(2) 電 気 機 械	9,383.8	9,214.9	1,375.5	16,332.5	17,545.5
(3) その他の機械	4,430.6	4,355.9	674.6	7,188.4	7,887.5
4 窯 業 品	1,758.6	1,706.5	341.7	3,755.9	3,852.7
(1) 板ガラス・同製品	1,034.5	976.4	251.1	2,581.7	2,690.2
(2) その他の窯業品	724.1	730.1	90.6	1,174.2	1,162.5
5 其他化学工業品	15,711.5	15,659.7	2,343.6	27,147.2	28,484.5
(1) 石 油 製 品	2,393.1	2,291.3	200.5	1,893.9	1,142.7
(2) 化 学 薬 品	2,656.8	2,642.7	331.6	3,822.6	4,045.3
(3) 化 学 肥 料	1,750.1	1,944.8	386.6	5,339.4	6,138.3
(4) 染・顔・塗料	489.3	483.7	74.5	851.6	858.3
(5) 合 成 樹 脂	4,151.5	4,044.6	777.5	8,442.9	8,966.1
(6) その他の化学工業品	4,270.7	4,252.6	572.9	6,796.8	7,333.8
6 紙及びパルプ	8,277.7	8,212.3	1,393.3	16,736.6	16,306.6
7 繊維工業品	6,207.1	6,272.9	1,295.6	15,630.1	17,207.6
(1) 化学繊維糸	2,765.4	2,797.8	521.7	6,041.0	6,452.4
(2) そ の 他 の 糸	690.5	694.1	173.9	1,921.8	2,653.7
(3) 化学繊維織物	1,828.1	1,870.2	389.2	5,043.3	5,455.1

(4) その他の織物	923.1	910.8	210.8	2,624.0	2,646.4
8 食料工業品	13,797.4	13,697.8	1,733.2	20,679.5	22,523.0
(1) 缶詰・瓶詰	2,353.1	2,356.5	374.3	4,431.6	5,429.7
(2) 砂糖	1,323.3	1,267.0	216.3	1,884.2	3,030.5
(3) 飲料	3,618.9	3,607.0	360.7	5,059.2	4,370.5
(4) その他の食料工業品	6,501.8	6,467.3	781.9	9,304.5	9,692.3
9 雑工業品	6,137.3	6,038.0	1,053.0	12,966.3	12,302.3
(1) 織物製品	1,324.5	1,237.2	318.4	3,666.3	3,557.7
(2) その他の日用品	2,434.5	2,400.9	380.4	4,952.3	3,995.3
(3) ゴム製品	1,486.8	1,515.8	183.3	2,472.9	2,595.4
(4) その他の製造工業品	891.5	884.1	170.9	1,874.8	2,153.9
10 雑品	14,397.4	14,205.0	2,736.4	29,255.8	33,960.6
(1) 天然ゴム	266.3	279.5	75.9	900.4	1,094.6
(2) 木材	3,572.0	3,371.8	827.2	7,528.3	8,344.9
(3) 非金属鉱物	1,360.3	1,529.6	343.1	4,375.3	6,940.2
(4) 動植物性肥飼料	2,693.5	2,668.2	421.0	4,509.1	5,601.9
(5) 雑品	6,505.3	6,355.9	1,069.2	11,941.9	11,979.0
合 計	124,840.2	123,400.1	21,036.5	238,043.6	244,009.4
昭和50年分	110,330.9	111,665.5	19,596.4	244,009.4	

第4表 普通倉庫品目別保管料推計高

(甲地区換算)

品 目 別	保 管 役 務 生 産 量			1 トン/期 保 管 料	年間保管料 推 計 高
	月末残高 ベース	入出庫高 ベース	合 計		
	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(円)	(千円)
1 農水産物	161,451.75	23,291.05	184,742.8	(242.6)	44,825,172
(1) 米	39,619.95	2,922.25	42,542.2	209.4	8,908,337
(2) 麦	50,935.50	7,579.00	58,514.5	156.4	9,151,618
(3) 雑穀	25,047.30	7,908.30	32,955.6	219.4	7,230,459
(4) 豆	7,610.25	1,663.65	9,273.9	550.5	5,105,282
(5) 畜産品	2,742.60	965.90	3,708.5	504.0	1,869,084
(6) 水産品	1,364.55	209.55	1,574.1	850.6	1,338,929
(7) 油脂用作物	1,109.85	280.65	1,300.5	324.4	421,882
(8) 葉たばこ	24,509.25	652.45	25,161.7	232.9	5,860,160
(9) その他の農産品	8,602.50	1,109.30	9,711.8	508.6	4,939,421
2 金属原料	89,096.85	18,805.75	107,902.6	(192.7)	20,797,435
(1) 鉄鋼	79,898.55	17,304.85	97,203.4	167.3	16,262,129
(2) 非鉄金属	9,198.30	1,500.90	10,699.2	432.9	4,535,306
3 金属製品機械	83,650.05	15,983.75	99,633.8	(766.4)	76,577,080
(1) 金属製品	13,452.75	2,291.15	15,743.9	856.9	13,490,947
(2) 電気機械	48,744.15	9,299.35	58,043.5	600.4	34,849,317
(3) その他の機械	21,453.15	4,393.25	25,846.4	1,098.2	28,236,816
4 窯業品	11,189.55	1,732.55	12,922.1	(534.9)	6,911,797

(1) 板ガラス・同製品	7,657.95	1,005.45	8,663.4	510.0	4,418,334
(2) その他の窯業品	3,531.60	727.10	4,258.7	580.6	2,493,463
5 其他化学工業品	81,363.90	15,685.60	97,049.5	(471.5)	45,758,214
(1) 石油製品	5,529.00	2,342.20	7,871.2	545.7	4,295,314
(2) 化学薬品	11,446.65	2,649.75	14,096.4	525.8	7,411,887
(3) 化学肥料	16,310.25	1,847.45	18,157.7	152.5	2,769,049
(4) 染・顔・塗料	2,546.40	486.50	3,032.9	905.0	2,744,775
(5) 合成樹脂	25,168.35	4,098.05	29,266.4	563.3	16,485,763
(6) その他の化学工業品	20,363.25	4,261.65	24,624.9	489.4	12,051,426
6 紙及びパルプ	50,111.70	8,245.00	58,356.7	263.1	15,353,648
7 繊維工業品	46,989.00	6,240.00	53,229.0	(723.1)	38,486,240
(1) 化学繊維糸	18,171.60	2,781.60	20,953.2	451.0	9,449,893
(2) その他の糸	5,770.80	692.30	6,463.1	788.6	5,096,801
(3) 化学繊維織物	15,193.05	1,849.15	17,042.2	904.6	15,416,374
(4) その他の織物	7,853.55	916.95	8,770.5	971.8	8,523,172
8 食料工業品	61,889.10	13,747.60	75,636.7	(482.6)	36,499,113
(1) 缶詰・瓶詰	13,299.45	2,354.95	15,654.4	473.8	7,417,055
(2) 砂糖	5,568.15	1,295.15	6,863.3	471.0	3,232,614
(3) 飲料	15,159.75	3,612.95	18,772.7	366.7	6,883,721
(4) その他の食料工業品	27,861.75	6,484.55	34,346.3	551.9	18,965,723
9 雑工業品	38,749.95	6,087.65	44,837.6	(729.1)	32,692,169
(1) 織物製品	10,867.95	1,280.85	12,148.8	686.0	8,334,077
(2) その他の日用品	14,806.50	2,417.70	17,224.2	782.2	13,472,640
(3) ゴム製品	7,462.20	1,501.30	8,963.5	644.2	5,774,287
(4) その他の製造工業品	5,613.30	887.80	6,501.1	786.2	5,111,165
10 雑品	87,478.80	14,301.20	101,780.0	(545.6)	55,530,502
(1) 天然ゴム	2,721.00	272.90	2,993.9	660.2	1,976,573
(2) 木材	22,284.60	3,471.90	25,756.5	286.9	7,389,540
(3) 非金属鉱物	13,379.85	1,444.95	14,824.8	319.9	4,742,454
(4) 動植物性肥飼料	13,491.75	2,680.85	16,172.6	280.9	4,542,883
(5) 雑品	35,601.60	6,430.60	42,032.2	877.4	36,879,052
11 合計	711,970.65	124,120.15	836,090.8	(446.6)	373,431,370
昭和50年分	734,030.10	110,998.20	845,028.3	(395.0)	337,634,288

第5表 普通倉庫品目別入出庫料推計高

(甲地区換算)

品目別	入出庫量	トン当り入庫料	入出庫荷役料推計高
	(千トン)	(円)	(千円)
1 農水産物	46,582.1	(555)	25,834,397
(1) 米	5,844.5	524	3,068,518
(2) 麦	15,158.0	609	9,231,222
(3) 雑穀	15,816.6	524	8,287,898

(4) 豆	3,327.3	524	1,743,505
(5) 畜産品	1,931.8	576	1,112,717
(6) 水産品	419.1	588	246,431
(7) 油脂用作物	561.3	524	294,121
(8) 葉たばこ	1,304.9	418	545,448
(9) その他の農産品	2,218.6	588	1,304,537
2 金属原料	37,611.5	(580)	22,078,658
(1) 鉄鋼	34,609.7	578	20,004,407
(2) 非鉄金属	3,001.8	691	2,074,251
3 金属製品機械	31,967.5	(708)	22,643,612
(1) 金属製品	4,582.3	680	3,115,964
(2) 電気機械	18,598.7	713	13,260,873
(3) その他の機械	8,786.5	713	6,266,775
4 窯業品	3,465.1	(759)	2,629,285
(1) 板ガラス・同製品	2,010.9	823	1,654,971
(2) その他の窯業品	1,454.2	670	974,314
5 其他化学工業品	31,371.2	(667)	20,929,249
(1) 石油製品	4,684.4	670	3,138,548
(2) 化学薬品	5,299.5	670	3,550,665
(3) 化学肥料	3,694.9	524	1,936,128
(4) 染・顔・塗料	973.0	670	651,910
(5) 合成樹脂	8,196.1	670	5,941,387
(6) その他の化学工業品	8,523.3	670	5,710,611
6 紙及びパルプ	16,490.0	494	8,146,060
7 繊維製品	12,480.0	(936)	11,680,920
(1) 化学繊維糸	5,563.2	670	3,727,344
(2) その他の糸	1,384.6	670	927,682
(3) 化学繊維織物	3,698.3	1,270	4,696,841
(4) その他の織物	1,833.9	1,270	2,329,053
8 食料工業品	27,495.2	(667)	18,339,298
(1) 缶詰・瓶詰	4,709.9	667	3,141,503
(2) 砂糖	2,590.3	667	1,727,730
(3) 飲料	7,225.9	667	4,189,675
(4) その他の食料工業品	12,969.1	667	8,650,390
9 雑工業品	12,175.3	(670)	8,157,451
(1) 織物製品	2,561.7	670	1,716,339
(2) その他の日用品	4,835.4	670	3,239,718
(3) ゴム製品	3,002.6	670	2,011,742
(4) その他の製造工業品	1,775.6	670	1,189,652
10 雑品	28,602.4	(567)	16,209,296
(1) 天然ゴム	545.8	670	365,979
(2) 木材	6,943.8	463	3,214,979
(3) 非金属鉱物	2,889.9	568	1,641,463
(4) 動植物性肥飼料	5,361.7	442	2,369,871

(5) 雑品	12,861.2	670	8,617,004
合計	248,240.3	631	156,648,225

注 a) 入庫料と出庫料とは同額料金

b) 適用品目は保管料推計の場合と同じ

第6表 水面木材倉庫月別貨物および水面の動向

月別	貨物 (単位 千立方米)			水面 (単位千平方米)	
	入庫高	出庫高	月末現在高	所管	在荷
前年末			1,392.3	5,892.5	
1	642.0	560.8	1,473.5	"	4,480.3
2	570.9	631.2	1,413.2	"	4,355.8
3	607.7	683.3	1,337.6	"	4,234.8
小計	1,820.6	1,875.3	(1,408.1)	(5,892.5)	(4,357.0)
4	622.9	677.2	1,283.3	5,892.5	3,993.0
5	725.4	623.4	1,385.3	"	4,091.6
6	681.4	727.6	1,339.1	"	3,984.5
小計	2,029.7	2,028.2	(1,335.9)	(5,892.5)	(4,023.0)
7	848.7	811.3	1,376.5	6,112.5	4,315.9
8	764.9	668.6	1,472.8	"	4,441.1
9	1,138.4	478.1	2,133.1	"	4,764.8
小計	2,752.0	1,958.0	(1,660.8)	(6,112.5)	(4,507.3)
10	834.1	1,302.2	1,665.0	6,112.5	4,859.1
11	777.1	767.1	1,675.0	6,177.1	4,889.5
12	714.5	669.9	1,719.6	"	4,966.2
小計	2,325.7	2,739.2	(1,686.5)	(6,155.6)	(4,904.9)
年計	8,928.0	8,600.7	(1,522.8)	(6,013.3)	(4,448.1)
前年	7,440.4	7,714.1	(1,620.9)	(5,831.0)	

第7表 水面木材倉庫品目別貨物動向

品目別	貨物動向 (千立方米)				昭和51年6月1 立方当り価格現 在高基準(千円)
	昭和50年末 現在高	入庫高	出庫高	昭和51年末 現在高	
国産針葉樹	0	—	—	—	—
国産広葉樹	1.6	5.9	6.5	1.0	14.0
北洋材	62.8	471.3	490.2	43.9	22.3
アラスカ材	—	—	—	—	—
米材角	12.0	112.5	116.5	8.0	24.2

" 丸太	433.8	2,206.7	2,182.4	458.1	22.4
" 板子	0.4	0.8	1.2	—	116.0
南 洋 材	879.1	6,115.5	5,788.1	1,206.5	18.1
台 湾 材	0.2	4.3	4.1	0.4	199.0
NewZealand材	—	11.0	10.9	0.1	—
そ の 他	2.4	—	0.8	1.6	20.5
合 計	1,392.3	8,928.0	8,600.7	1,719.6	20.0

第8表 冷蔵倉庫月別貨物および庫腹推移

(F=Freezer, C=Cooler)

昭和51年 月 別	貨 物 (単位 千トン)			庫 腹 (単位 千立方米)			レンタル 用 (千立方米)
	入 庫 高	出 庫 高	月末現在高	F, C ₁ , C ₂ 級	C ₃ 級	合 計	
前 年 末			1,297.3	9,130.8	931.0	10,061.8	883.2
1	436.6	489.4	1,244.5	9,134.5	936.3	10,070.8	867.1
2	478.9	483.0	1,240.4	9,149.9	936.9	10,086.8	899.8
3	573.2	590.1	1,223.5	9,161.5	946.1	10,107.6	941.0
小 計	1,488.7	1,562.5	(1,236.1)	(9,148.6)	(939.6)	(10,088.4)	(902.6)
4	622.5	596.2	1,249.8	9,344.8	942.9	10,287.7	1,009.3
5	632.7	617.4	1,265.1	9,422.0	950.5	10,372.5	1,041.9
6	699.7	635.0	1,329.8	9,470.9	964.9	10,435.8	1,083.0
小 計	1,954.9	1,848.6	(1,281.6)	(9,412.6)	(952.8)	(10,365.3)	(1,044.7)
7	748.6	678.0	1,400.4	9,484.9	968.3	10,453.2	1,053.7
8	692.2	649.9	1,442.7	9,491.2	998.4	10,489.6	1,029.4
9	664.1	666.3	1,440.5	9,526.9	1,006.3	10,533.2	946.1
小 計	2,104.9	1,994.2	(1,427.9)	(9,501.0)	(991.0)	(10,492.0)	(1,009.7)
10	746.5	694.5	1,492.5	9,570.8	1,022.7	10,593.5	920.5
11	708.6	697.5	1,503.6	9,639.3	1,037.3	10,676.6	937.8
12	668.3	768.8	1,403.1	9,686.5	1,031.8	10,718.3	888.2
小 計	2,123.4	2,160.8	(1,466.4)	(9,632.2)	(1,030.6)	(10,662.8)	(915.5)
年 計	7,671.9	7,566.1	(1,353.1)	(9,423.6)	(978.5)	(10,402.1)	(968.1)
前 年	6,916.0	6,830.0	(1,238.9)	(—)	(—)	(9,726.7)	—

第9表 冷蔵倉庫品目別貨物動向

(単位 千トン)

品 目 別	入 庫 高	出 庫 高	昭和51年末現在高	昭和50年末現在高
生 鮮 水 産 物	281.8	283.6	43.2	45.0
冷 凍 水 産 物	3,465.7	3,428.5	707.3	670.1

塩干水産物	544.3	550.4	90.7	96.8
水産加工品	257.8	256.9	34.9	34.0
畜産物	1,181.1	1,153.2	244.4	216.5
畜産加工品	667.1	641.7	72.7	47.3
農産物	445.9	432.6	97.9	84.6
農産加工品	190.6	192.3	34.5	36.2
冷凍食品	534.9	527.1	63.7	55.9
その他	100.5	97.6	13.8	10.9
合 計	7,671.9	7,566.1	1,403.1	1,297.3